

第1回大田区選挙事務不適正処理再発防止委員会（概要）

開催日：令和7年10月31日（金）

場所：大田区役所 第五・第六委員会室

出席者：委員長：小島勇人（選挙制度実務研究会理事長）

委員：谷口尚子（慶應義塾大学教授）、佐藤郁美（弁護士）、堀江敏雄（自治会連合会理事）

事務局：大田区選挙管理委員会事務局

【1. 開催趣旨と諮問内容】

田中選挙管理委員会委員長より、事案により区民の信頼を損ねたことへの謝罪があり、厳正な事実検証と再発防止を目的に委員会を設置した旨を説明。

小島委員長が互選され、「中立的かつ実務的な検証を重ね、具体的提言をまとめる」と述べた。

諮問事項：令和7年7月20日執行参議院議員通常選挙における不適正な事務処理（不在者投票者数の二重計上・白票水増し）の事実関係の検証と再発防止策の立案。

【2. 事務局による説明の要点】

・不在者投票二重計上の発生経緯：

19日までの不在者投票数2,590人に当日分279人+在外360人を加算すべきところ、

20日までの累計値2,869人を誤って当日分と認識し、2,590人を重複計上。

・開票所での水増し経緯（概要）：

集計上不足2,600票が表示されたため、架空の白票を2,500票分計上し帳尻を合わせた。

※数字はイメージ

【3. 委員からの主な意見・指摘】

- ・データ形式や日別区分の不明確さが誤認を生んだ。定義・表示の明確化が必要。
- ・速報処理のスピード重視が誤りの温床。チェック体制・作業優先順位の再検討が必要。
- ・日次確認や帳票突合が不十分。入力エラーを自動検知する仕組みの導入が望ましい。
- ・投票者総数確定の精度が低く、開票との連動に課題。職員が全体の業務構造を理解する体制・研修の充実を求める。

【4. 今後の方向性（事務局案）】

第2回（11月28日）：課題の整理・原因分析・再発防止策（案）の検討

第3回以降：再発防止策の具体化、提言案のとりまとめ

年度末：最終提言公表予定